

## **Ⅵ 豊かな「都」をつくる**

～県内の農・畜産・水産業・林業の振興、  
農村活性化、森林を護る施策を進める～

# Ⅶ 豊かな「都」をつくる 22 農業・農地・農村・食と農の振興

## (111) 特定農業振興ゾーンの整備

これまでは

### 特定農業振興ゾーンの設定に努めてきました

奈良県の農業は経営規模の小さい土地で非効率な稲作をしている農家が多く、農業産出額が低い状況です。農地の利用集積を促進し、有効利用を図るため、特定農業振興ゾーンを設定しています。



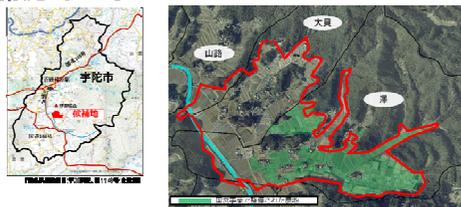
### ○特定農業振興ゾーン設定地区 1市3町6地区でゾーン設定

| 所屬定地区     | 面積     | テーマ                        |
|-----------|--------|----------------------------|
| 川西町下永東城地区 | 4.9ha  | イチゴ、結崎ネブカの振興               |
| 田原本町法貴寺地区 | 79.4ha | スイカ採収の規模拡大 イチゴ等の振興         |
| 八田地区      | 85.0ha | ナス、トマト、軟弱野菜の規模拡大           |
| 広陵町寺戸地区   | 9.4ha  | イチゴ産地の復活 集落営農の組織化          |
| 百済川向地区    | 21.8ha | ナスの産地復活 集落営農の組織化           |
| 五條市丹原地区   | 12.4ha | 法人と連携した青ネギの導入、集落営農の組織化、法人化 |

もっと良くするために

### 宇陀市において特定農業振興ゾーンを設定

令和2年12月16日、宇陀市伊那佐東部地区(宇陀市榛原澤、大貝、山路 51.5ha)において特定農業振興ゾーンを設定しました。



※ 北部地域では、大和郡山市・平群町でゾーン設定に向け協議を進めています。

- 農地の利用集積・集団化、区画の大規模化、耕作放棄地の解消・発生抑止(122百万円) [債務負担行為 50百万円]
- 高収益作物への転換(11百万円)
- 施設・機械の整備(3百万円)
- 多様な担い手の確保(2百万円)

令和3年度予算案 138百万円 [債務負担行為 50百万円]

R3予算案 137,910千円 [債務負担行為 50,000千円]

- 特定農業振興ゾーンの農地・農業者に対し、地域で設定した高収益作物への転換、その他の政策を集中的かつ優先的に推進し、成功事例を創出
- これを他地域へ波及させ、農地を有効に活用する地域を増やし、農業の生産性を向上

### 令和3年度の取組 — 特定農業振興ゾーンについて、県の施策を集中的かつ優先的に推進 —

#### ◆農地の利用集積・集団化、区画の大規模化、耕作放棄地の解消・発生防止

- ① 農地の集積による規模拡大、基盤整備による低コスト化を総合的に実施(112,000千円、R4債務負担行為 50,000千円)
- ② なら担い手・農地サポートセンターを活用して、農地集積・集約化に取り組む場合に協力金を交付(10,550千円)

#### ◆高収益作物の転換

- ③ 特定農業振興ゾーン内の水田において高収益作物栽培を目的として、水田の排水性の現状把握と、排水状態に適した土壌改良方法を実証(715千円)
- ④ ICT技術を活用したスマート農業を導入する先導的経営体の育成を支援(10,145千円)

#### ◆施設・機械の整備 (3,000千円)

- ⑤ 新規就農者が新たに農業を始める際の初期投資軽減を図るため、農業用施設・機械を導入(リース)する経費を補助

#### ◆多様な担い手の確保 (1,500千円)

- ⑥ 就農後の定着を図るため、新規就農者に対し資金を交付(最長5年)



| 市町村  | 地区名   | テーマ                             | 主な取組           |
|------|-------|---------------------------------|----------------|
| 川西町  | 下永東城  | イチゴ、結崎ネブカの振興                    | 園芸施設の整備        |
| 田原本町 | 法貴寺   | スイカ採収の規模拡大<br>イチゴ等の振興           | 園芸施設、かんがい施設の整備 |
| 田原本町 | 八田    | ナス、トマト、軟弱野菜の規模拡大                | 園芸施設、かんがい施設の整備 |
| 広陵町  | 寺戸    | イチゴ産地の復活<br>集落営農の組織化            | 園芸施設の整備        |
| 広陵町  | 百済川向  | ナスの産地復活<br>集落営農の組織化             | 区画の大規模化        |
| 五條市  | 丹原    | 法人と連携した青ネギの導入<br>集落営農の組織化、法人化   | 区画の大規模化        |
| 宇陀市  | 伊那佐東部 | 大和高原宇陀ブランドによる軟弱野菜、有機野菜、花き等の生産拡大 | 園芸施設、かんがい施設の整備 |

※ その他、2市3町の7地区へのフォローアップ、事業効果の検証や、新たに3地区程度のゾーン設定を目指して、市町村等と調整に取り組む

<問い合わせ先>

食と農の振興部

- ① 農村振興課 藤田課長補佐 (内線3911)
- ②⑤⑥ 担い手・農地マネジメント課 伊村課長補佐(内線4021)
- ③④ 農業水産振興課 國本課長補佐 (内線3841)

# Ⅶ 豊かな「都」をつくる 22 農業・農地・農村・食と農の振興

## (112) 農地マネジメントの推進

これまででは

### 耕作放棄地解消のための取組

放棄地解消のため

① サポセンによる農地の出し手と受け手のマッチングによって、農地集積等を推進しています。

※サポセンが担い手・農地サポートセンター(農地中間管理機構)の略

【サポセンのマッチング実績】

|        | H26  | H27   | H28  | H29  | H30  | R1   |
|--------|------|-------|------|------|------|------|
| 面積(ha) | 29.1 | 171.0 | 75.8 | 82.9 | 97.7 | 91.7 |

マッチング面積の累計は、548.2haになりました。

② 市町村による「実質化した人・農地プラン」の作成を推進しています。

【実質化した人・農地プランの実績】

「実質化した人・農地プラン」により、5～10年後の農地の出し手(例:75歳以上で後継者不在)を見える化し、それを基に農業者が話し合い、地域の将来の担い手である中心経営体と地域農業の在り方を明確化します。



もっと良くするために

不作付け農地のマッチングを推進します。

不作付け農地(草刈り等により荒廃はしていないが耕作意思が見られない農地(※))を積極的に把握し、関係機関(県、市町村、農業会議、農委、JA、土地改良区)が一丸となって、サポセンのマッチングを支援します。

※これまで全量で把握されていない。荒廃前の農地で草刈り等により管理がされているため、受け手希望も多い。⇒マッチング成立の可能性大

人・農地プランの実質化によるサポセンのマッチング増加により、耕作放棄地の解消に努めます。



○農地中間管理事業を活用した担い手への農地集積(80百万円)

○耕作放棄地再生を行う担い手への支援(5百万円)

○重課制度活用を含め農地利用活動を行う農業委員会への支援(59百万円)

○(新)不作付け農地情報の調査を支援(2百万円)

令和3年度予算案 146百万円

R3予算案 146,036千円

### 令和3年度の取組

(1) 農地中間管理事業を活用した担い手への農地集積(80,532千円)

なら担い手・農地サポートセンターによる農地の出し手、受け手のマッチング(農地の中間管理)を実施

(2) 耕作放棄地の再生を行う担い手への支援(5,000千円)

奈良らしい農業振興と工業ゾーンの設定など地域振興を図る農地マネジメントを推進するため、耕作放棄地の再生費用を支援

(3) 重課制度の活用など農地利用活動を行う農業委員会を支援(59,004千円)

農業委員会が実施する遊休農地の発生防止、担い手への農地集約等を支援

(4) **新** 不作付け農地を把握するための取組を行う農業会議を支援(1,500千円)

農業会議が実施する不作付け農地確認マニュアルの作成や、作成したマニュアルを市町村農業委員会へ普及させる取組を支援

### 農地マネジメントの進め方(例:農地中間管理事業の活用により農地の利用を促進)

農地の出し手  
＜活用前＞



なら担い手・農地  
サポートセンター

農地中間管理事業を活用して、農地の出し手と受け手をマッチング、担い手へ集積

農地の受け手  
＜活用後＞



担い手による営農

＜問い合わせ先＞

食と農の振興部

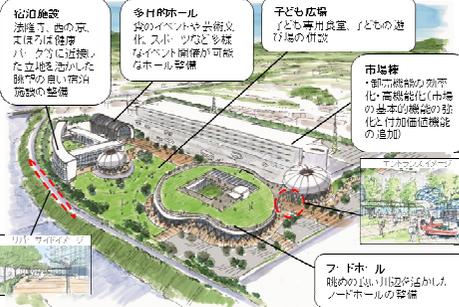
担い手・農地マネジメント課 伊村課長補佐(内線4021)

# Ⅶ 豊かな「都」をつくる 22 農業・農地・農村・食と農の振興 (113) 中央卸売市場の再整備

## これまでは

中央卸売市場の老朽化・再整備の必要性に対応するため「奈良県中央卸売市場再整備基本計画」を策定しました。(令和元年9月)

### 【中央卸売市場再整備イメージ】



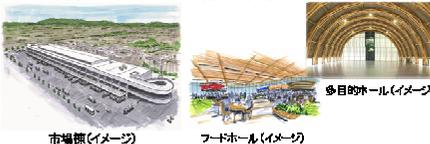
各施設の整備と運営にあたっては、できる限り民間活力(PFI事業等)の導入を行う。

- 令和2年度、「奈良県中央卸売市場再整備基本計画」実施プラン(案)を作成、市場のレイアウト等の見直しにより、工期を短縮するとともに、民間事業者の参入がより得やすいものとなりました。
- また、市場北側の用地取得が始まりました。

## もっと良くするために

卸売機能(BtoB)の効率化、高機能化に加え、賑わい創出機能(BtoC)の整備により、市場の立地や歴史を活かした「食とともに文化・スポーツを楽しむ」華やかで賑わいのある複合拠点の整備を図ります。

- 【令和3年度の取組】
- 市場エリア再整備の事業者募集に向けた手続き
  - 賑わいエリアのレイアウト等の検討
  - 現況市場敷地の測量、駐車場用地等の買収 等
- 【スケジュール】
- 令和2年度 市場施設・設備等の整備内容検討
  - 令和3年度 市場エリア再整備の事業者募集に向けた手続き  
賑わいエリアの整備検討
  - 令和4年度以降 設計・工事
  - 令和7年度 市場エリア再整備完成(予定)
  - 令和10年度 賑わいエリア完成(予定)



令和3年度予算案 1,325百万円

R3予算案 1,324,626千円

- 「奈良県中央卸売市場再整備基本計画」に基づく市場再整備を推進
- 卸売機能(BtoB)の効率化・高機能化に加え、賑わい創出機能(BtoC)を整備し、華やかで賑わいのある複合拠点を整備

## 1. 令和3年度の事業概要

- 市場エリア(BtoB)の事業者募集に向けた手続き
- 賑わいエリア(BtoC)のレイアウト等の検討
- 現況市場敷地の測量、駐車場用地等の買収
- 新**市場全体を統合管理するシステムの導入検討
- 新**オーガニック野菜の流通促進に向けた情報発信、事業者等のネットワーク構築

## 2. スケジュール

- 令和元年度 「奈良県中央卸売市場再整備基本計画」策定(9月)
- 令和2年度 市場施設・設備等の整備内容検討
- 令和3年度 **市場エリアの事業者募集に向けた手続、用地取得等**
- 令和4年度～ 設計・工事
- 令和7年度 市場エリア完成(予定)
- 令和10年度 賑わいエリア完成(予定)



市場棟(イメージ)



フードホール(イメージ)



多目的ホール(イメージ)



＜問い合わせ先＞  
食と農の振興部  
中央卸売市場再整備推進室  
伊藤室長補佐(0743-56-7156)

# VII 豊かな「都」をつくる 22 農業・農地・農村・食と農の振興

## (114) NAFIC教育の充実と周辺の整備

これまでは

NAFICフードクリエイティブ学科のカリキュラムの再編を検討してきました。

カリキュラム再編の概要(R3年度より適用)

○必須の講義・実習に加えて、学生の関業・就職それぞれの進路に応じ、**重点化(選択制)したカリキュラム構成**

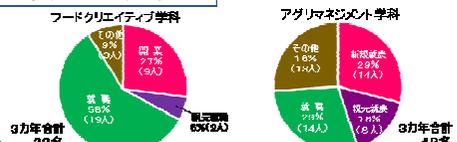
農業・就職別に重点化した科目を中心とした履修(2年次中心)



教育の充実

- 専修学校化(学校教育法に基づく R2.8)
- 高校との連携協定(R2.9 県立磯城野高校と協定締結)

卒業生の進路の状況



もっと良くするために

「食」と「農」の担い手育成のため、NAFICの教育の更なる充実を図ります。

- 再編したカリキュラムに基づく学校教育の実施
- スペインの料理大学校/バスクカリーナーセンター(BC C)と連携し、交流事業を実施
- 高校との連携による人材教育の充実
- 卒業後の進路の充実と卒業生のフォローアップ

NAFICの立地を活かし、NAFICを核とした周辺整備を更に進めます。

- 令和4年度供用開始を目指し、「NAFIC附属セミナーハウス」を整備(1,666百万円) [債務負担行為 95百万円]
- セミナーハウス上段部の眺望の良い景観を活かし、民間活力を活用した集客施設の整備を検討(1百万円)

令和3年度予算案 1,667百万円 [債務負担行為 95百万円]



R3予算案 1,667,069千円 [債務負担行為 94,704千円]

- なら食と農の魅力創造国際大学校(NAFIC)とオーベルジュの機能や立地を活かし、NAFICを核とした賑わいづくりを推進
- 新たにセミナーハウス等を設置し、「食」と「農」の魅力発信により、地域の農産物の活用促進、国内外からの交流人口の増加を図り、中山間地域を活性化

### ① NAFIC附属セミナーハウスの整備

(1,665,975千円、R4債務負担行為 94,704千円)

- |                |             |
|----------------|-------------|
| 平成30年度         | 造成工事        |
| 令和元年度          | 外構設計        |
| <b>令和2~3年度</b> | <b>建築工事</b> |
| <b>令和3~4年度</b> | <b>外構工事</b> |
| 令和4年度秋頃        | 供用開始予定      |

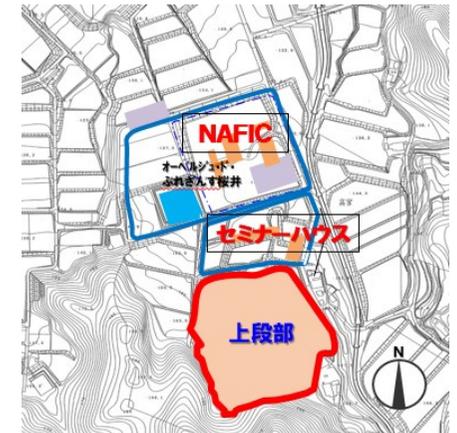
### ② 眺望の良いセミナーハウスの上段部への集客施設整備に向けた民間事業者の誘致

(1,094千円)

- |              |                      |
|--------------|----------------------|
| 令和元~2年度      | 民間事業者の検討・誘致活動        |
| <b>令和3年度</b> | <b>民間事業者へのヒアリング</b>  |
| 令和4年度以降      | 基本計画の作成<br>民間事業者公募 等 |



セミナーハウスイメージ



賑わいづくり位置関係図

<問い合わせ先>

食と農の振興部

豊かな食と農の振興課 ①我妻課長補佐(内線3818) ②森本主幹(内線3811)